



『施設情報』

当院はAMG内でも“透析に特化した病院”と位置付けられています。本年度から透析シャントセンターを院内に設置し、院内外から患者さんを受け入れております。また地域医療や予防医学にも力を入れ、昨年度人間ドッグを開始し、糖尿病専門医の指示の下、定期的な超音波検査の実施など、患者さんの健康維持のため職種連携を図り、今年度AMGテーマである創造を体現出来るよう病院職員一丸となって、アットホームな雰囲気の中、頑張っております。

【施設基準】

- ・障害者施設等入院基本料(10対1)
- ・医療安全対策加算(Ⅱ)
- ・感染防止対策加算(Ⅱ)
- ・検体管理加算(Ⅰ)、(Ⅱ)
- ・薬剤管理指導料
- ・遠隔画像診断
- ・輸血管理料(Ⅱ)
- ・輸血適正使用加算 など

検査科は本年度1名の新人を迎え、20～30代を中心に9名の笑顔が絶えない検査室です。検体検査は、生化学・血液・一般・輸血を1つの部屋で、生理検査は、複数の部屋で心電図・血圧脈波・肺機能検査・聴力検査・各種超音波検査を行っています。

勤務時間は、診療日(透析日含む)に早番・中番・残番の3つの勤務時間帯、夜間・日曜日はオンコール体制で交代勤務をしております。小規模施設のため、検査科職員全員が院内で行うすべての検査ができることを目標としており、日々超音波検査の習得に励んでいます。

令和4年4月1日現在の職員数 : 常勤8名、非常勤1名 (育児休業1名)

勤務体系 変更労働時間体制 : 早番・・・8:00～17:00 中番:8:30～17:30 残番:8:30～18:30
オンコール体制:18:30～翌8:00

『取り組み内容』

1. 今年度の検査科目目標のうち、一部を紹介します。
 - ・生理検査の拡充 …… 複数領域を実施できるエコー検査者の育成。
 - ・多職種チームとの連携 …… NSTや糖尿病療養支援チームの参加。タスクシフト・シェアの実践
 - ・人材育成 …… 院内及び多様なWeb研修による検査知識と技術の取得
医療安全等、ノンテクニカルスキルの向上
2. 正確な検査結果を提供するため、精度管理に努めています。
 - ・日本臨床衛生検査技師会、日本医師会、埼玉県医師会の精度管理調査・・・正解率は全て95%以上
 - ・日本臨床検査技師会 精度保障認証取得(2020年度更新)
3. 各種資格取得に励んでいます。
 - ・認定超音波検士:1名
 - ・認定心電検査技師:1名
 - ・2級臨床検査士:1名 (循環生理学)
 - ・第2種ME技術実力検定試験合格:1名
 - ・日本糖尿病療法指導士:1名
 - ・埼玉県糖尿病相談員:2名
 - ・血管診療技師:1名
 - ・心電図検定試験 3級:1名
 - ・日本聴覚学会中級認定:1名
 - ・埼玉県肝炎医療コーディネーター:4名